



We Serve

ライオンズクラブとは

(研究会～資料)

ライオンズクラブ国際協会

337 複合地区

目 次

第 1 章	新しい会員の皆様へ	1
第 2 章	ライオニズム（主義）とは	3
第 3 章	ライオンズクラブとは	3
第 4 章	ライオンズクラブの組織	1 2
第 5 章	ライオンズクラブのアクティビティについて ...	1 6
第 6 章	奉仕活動とその事業内容	1 7
第 7 章	ライオンズクラブの会議並びに大会について ...	2 0
第 8 章	ライオンズクラブの諸事務局・事務所	2 2
第 9 章	ライオンズクラブの会計について	2 3
第 10 章	国際協会から贈呈されるアワードについて	2 4
第 11 章	ライオンズクラブの例会について	2 7
第 12 章	例会出席・メイク・アップ規則について	2 8
第 13 章	ライオンズ必携とライオン誌の熟読	2 9
第 14 章	ライオンとしての心構え	2 9
第 15 章	結 び	2 9
附／諸会費の税法に関する事項.....		3 0
ライオンズ用語と意味		3 2

第1章 新しい会員の皆様へ

ライオンズクラブは社会奉仕を目的とした団体ですが、単なる寄付団体ではありません。私たちの奉仕活動によって社会に投げられたひとつの石が次第に波紋をひろげ、地域社会の人々に善意の心の美しさと共感をよびおこし、その地域社会全体が愛の奉仕と友愛に生きるよう誘い水となるのが、ライオンズの目的です。

善意の押し売りをする団体ではなく、社会の人々の共感を得て、ともに活動する団体です。

(1) ライオンズクラブは単なる寄付団体や慈善団体ではない。

この点は世間に誤解されている重要な問題です。新聞記事の中に、また街や郊外に、ライオンズクラブが寄贈した街路樹や小公園などの施設や設備をごらんになったことと思います。またライオンズクラブでは、公共施設や道路などの清掃奉仕や交通指導など、会員自らの手で行っています。このようにライオンズクラブの奉仕活動は、地域や住民のためになるような、ほんのちょっとしたことにも真心と情熱を注いで活動をしています。

ライオンズクラブは財力とか暇をもった人々の集まりではありません。会員の資格は善良な知性、徳性の持ち主であり、地域社会に人望のある成人と明確に表現されています。

心豊かさこそ求められるものであり、物質的豊かさのみのボランティアを求めるものではありません。

私たちの奉仕は、奉仕そのものも目的ではありますが、さらに奉仕を通して社会に善意の心の美しさを呼びおこすことに目的があるのです。たとえ奉仕が樹木一本、苗木一本であっても、その奉仕を通して内にはライオンズクラブ会員の精神が高められ、外に対してはその奉仕がきっかけとなって、やがて大きな地域社会への奉仕の輪が広げられていくことを願う活動こそライオンズクラブの奉仕活動なのです。

(2) 奉仕に必要な資金

ライオンズクラブの会員は一定の会費を納めていますが、これはクラブそのものの運営費にあてられますから、奉仕活動の資金はその都度それにふさわしい方法でつくられます。ある奉仕にどのような事業資金獲得がよいかは、会員の英知を集めて決められます。

ある時はバザーやチャリティーショーなどをしたり、またある時は会員の慶び事の記念としての善意の拠出などがあります。(2012～2013年度版役員必携P132) (事業資金獲得法) アクティビティ(奉仕)の事業資金は実際に手元になければならず、収入予定額であってはなりません。

(3) クラブ運営などは規則が必要

たとえば、定期的に月2回例会という総合会議をもっていますが、例会出席は会員の絶対的義務となっています。奉仕活動への参加は、まず例会出席から始まります。これが出発点であるだけに、例会の運営は開始と終了の時間が厳守され無断欠席は禁じられています。また各種の役員は任期を一年とし、特別な事情がないかぎり再任がありませんから、特定の会員にだけ名誉や地位や権力が生まれることはありません。一般に関心のある社会問題や、政治や宗教の問題をライオンズクラブが研究・討論の対象にすることもありますが、特定の立場で会を運営したり、会員が特定の政党・宗派などの主義主張をもちこみ宣伝すること、討議は一切禁じられています。

他にもいろいろな規律がありますが、厳格であることをむしろ誇りに思っているのです。

他に各クラブには内規があります。会則を適用するうえの具体的運用方法が(内規)であります。従って内規において会則の内容を変更することはできません。

(4) ライオンズクラブに入会して活動している意義

ライオンズクラブに入会すると、会費を払い、労力の奉仕・例会出席など強制されるものを感じます。しかし、人間の一生は地位やお金がすべてではありません。

私たちの住む社会は、みんなで住み良くする奉仕事業には1人よりも10人・10人よりも100人がより大きな成果をあげられます。ともすれば、私利私欲と利己主義に走りがちな風潮がありますが、社会に生活させてもらうご恩を返し、報酬を期待せず、会員一人一人が手をつないで奉仕をする、これがライオンズ奉仕のよろこびであります。ライオンズクラブの奉仕は善意の心を合わせて、常に国際的視野に立って世の中のために奉仕をすすめる、そこにライオンズクラブ会員としての誇りとよろこびがあります。

第2章 ライオニズム(主義)とは

(1) ライオニズム(主義)とは

ライオニズムとは最も崇高な人道的奉仕の理想に専念するライオンズという共同体の連帯の意識を指す。

ライオニズムとは国籍、主義の異なった、また国境や海や迷信などで引き離された人々をつなぎ合わせて、よりよい世界へ導こうとする信念である。

所謂ライオニズムとはライオンズとイズム(主義)を一緒にした言葉、つまりライオンズ主義のことで、たとえばアメリカイズム(開拓精神)、ヒューマニズム(人文主義)、アクティビズム(行動主義)の一種であり、ライオンズを語るとき、またはライオニズムに基づいて行動を起こすとき、この言葉の意味を会員一人一人が的確に把握しておく必要がある。

(2) ライオニズムの究極

世界中のライオンは、不幸な人や社会へ、無私の奉仕をしている。われわれのゴールは貧困や、病気飢餓・無智や恐怖、あるいは戦争の悲惨さをなくすことである。

天災に常に備えること。病気や貧困に苦しんで悲嘆にくれている人、特に最近ではストリートチルドレン、難民等が助けを求めればその人の側に立つこと。必要と思われる社会事業を喜んで始めてゆくこと。身障者・身寄りのない老人にはすすんで愛の手を伸ばすことである。

ライオニズムのゴールは数え切れないぐらいにいつでもどこにでもある。

第3章 ライオンズクラブとは

(1) ライオンズクラブの誕生

ライオンズクラブは国際的につながりのある社会奉仕団体で、ライオンズクラブ国際協会とありますが、誕生地はアメリカです。今から90年前にシカゴに住む若い保険会社員であるメルビン・ジョーンズは、ある事業団体に加入して会員としてよく活動していましたが、何か飽きたらないものを感じ、社会のために何か有益な団体として改組できないものかという夢を抱きはじめ、国内の

各種団体に呼びかけて、社会奉仕団体として改めることに成功し、1917年10月8日から3日間、22の各種の団体の代表者36名がダラスに集合して結成大会が開かれ、正式にこの大会において社会奉仕を目的としたライオンズクラブ国際協会が発足したのであります。

(2) ライオンズの性格と目的は

ライオンズは国境を越えて、世界を一つに結び、人類愛に連なる社会奉仕団体です。その活動は自己の利益をもたらすためのものではありません。

また宗教や、政治上の利益を目的としたものでもありません。勿論、単なる社交機関や慈善団体でもありません。

知性を高め、友愛と相互理解精神を養いつつ、その対価を目的としない純然たる社会奉仕をモットーとした団体であります。即ち We S e r v e “われわれは奉仕する”これが目的です。

(3) 任命と名称

ライオンとは勇気・力・誠実・行動を象徴するものであり、りっぱな・強力な・そして勇猛な動物であるというより、偉大な行為・高い理想と言った伝統的な観念を意味するものである。

ライオンズクラブの正式の名称は「ライオンズクラブ国際協会」と称し、その本部は米国イリノイ州オーク・ブルックに所在する。そして協会のシンボル・マークは、紫の外輪の中央に黄金でライオンズの頭文字Lを配し、左右から2頭の黄金のライオンの横顔で包囲し、上段にLIONS、下段にINTERNATIONALと書き込まれている。

ライオンの一頭の横顔は過去の輝かしい歴史を、他の一頭は前途遼遠たるライオンズの未来を見つめていることを語っている。また紫は国家・友人および自己自身・さらに自己のよごれなき良心に忠実であることを意味し、金色は清廉な生き方・真摯な志・片寄らない判断・寛大な心を持って人に接し、物心両面の援助を惜しまないことを意味づけている。そして紫と黄金のライオンズ・カラーは協力と陶冶・啓蒙と呼応および更新を象徴しているものである。

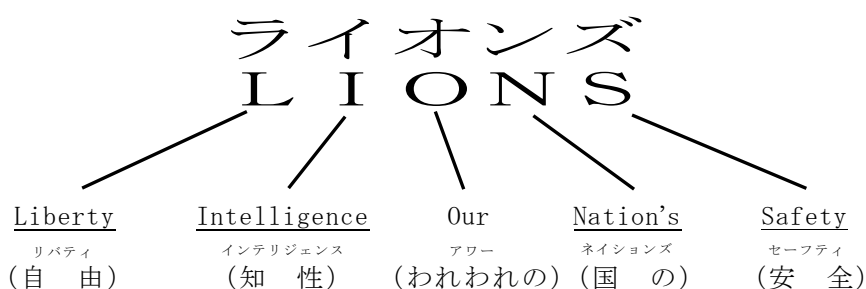
※1919年シカゴにおける第3回大会においてデンバーの若い弁護士（ハルステット・リッター）がライオンズの名称に関して次のように述べた。

「これは、われわれが常に賞揚してやまない資質—友愛・親善・個性・意志—のすべてをそなえる百獣の王すなわち L (Liberty) I (Intelligence) O (Our) N (Nation's) S (Safety) であります。みなさん万人を魅了するにちがいないこ

の文字を高らかに掲げようではありませんか。」と話が終わったとき、このスローガンは確固となった。後年、この文字の組み合わせは協会のスローガンとして採択された。

◎ 名 称

(自由を守り、知性を重んじわれわれの国の安全をはかる)



(4) ライオンズ・マークの意味

会員とクラブが、ともに一つになって進むことを意味する。円の中にある大きなLの文字は、法(Law)、自由(Liberty)、労働(Labor)、忠誠(Loyalty)、愛(Love)、生命(Life)、ライオン(Lion)、を象徴するものである。ライオンの顔は2方向を向いているが、これは非利己的な奉仕をあらゆる方向に向かって行うことを意味し、かつ、1頭は過去の輝かしいライオンズの歴史を見守っており、他の1頭は前途遼遠たるライオンズの未来を見つめている。

下のインターナショナルの文字は、国際協会の会員であり、世界の人々がしっかりと手を握りあってライオンズクラブの目的を達成しようとの誓いを表わしている。

ライオンズクラブにおいては、紫は、国家、友人および自己、さらに自己の良心に忠実であることを意味し、金色は、清廉な生き方、真摯な志、偏らない判断、寛大な心をもって人に接し、物心両面の援助を惜しまないことを意味している。そして、この紫と金色の配色は、協力と陶冶、啓蒙と呼応および更新を象徴している。

会員は胸にバッジを常時着用することを要請されている。

(5) 沿革

- ① 1917年6月7日 メルビン・ジョーンズの呼びかけによりアメリカ合衆国各地から約20名の代表者が集まり、シカゴ市のホテル・ラサールのイースト・ルームで初会合を行った。
- ② 1917年10月8日 22クラブの代表者36名がダラス市アドルフ・アス・ホテルに集まって第1回の大会を開催。ここに正式に「ライオンズクラブ協会」の名称を採用した（初代会長W. P. ウッズ）。
～10日 現在、世界最大・最も活動的・最も代表的な奉仕クラブとなる団体が誕生し、その基礎が築かれた。
- ③ 1920年3月12日 カナダ・オンタリオ州のウインザー市にアメリカ合衆国以外の第1番目のクラブが結成され、協会の名称も「国際協会」となった。
- ④ 1925年6月29日 第9回国際大会においてヘレン・ケラーは「ライオンズよ！闇を開く十字軍の騎士たれ」とすばらしいスピーチをして以来、盲人を助け眼を守る運動はわれわれの奉仕活動の大きな柱となった。
～7月2日
- ⑤ 1926年～27年 中華民国（1926.10.1天津）メキシコ（1927.3.15 Nuevo Laredo）およびキューバが3・4・5番目の加入国となり1,183クラブ59,965名となった。
- ⑥ 1935年8月6日 パナマが加盟して中央アメリカは我が育ちゆくファミリーの一員となった。
- ⑦ 1936年1月20日 コロンビアが南米で初めてライオンズの地図に載った。
- ⑧ 1948年3月24日 ライオンズ精神は大西洋を渡ってスウェーデン・スイス・フランスに灯をともした。
- ⑨ 1952年3月5日 フィリピンのマニラLCが東京LCを結成、3月21日、チャーター・ナイトを外国人メンバー20名を含めて57名で挙行した。結成の立て役者は国際特別代表Lジョージ・バレネンゴアであり、チャーターを持ってこられたのは当時の国際理車Lゴンザレスである。

初代の会長故し石川欣一は、3月31日開局した文化放送から東京クラブの創立を一般市民に放送し、ライオンズの設立が友愛と寛容の精神の現れとして、いかに意義深いものであるかを力説した名放送があった。これが現在世界第3位のライオンズ国となった日本へのライオニズムの上陸である。

- ⑩ 1962年4月 群馬県に前橋ライオンズクラブが誕生して、日本の全都道府県にライオンズが誕生した。
- ⑪ その後の推移 2007－2008年度版 ライオンズ必携 P222～225 参照
 2007－2008年度版 役員必携 P14～31 参照
 2010－2011年度版 役員必携 P14～31 参照
 2011－2012年度版 役員必携 P14～31 参照
 2012－2013年度版 役員必携 P14～31 参照

(6) 現在の状況は

ライオンズの精神に基づくこの運動は全世界にひろがり、盛んに活動しております。次にクラブの数・会員数等の調査結果は下記のとおりです。

1. 世界のライオンズ国または領域	207ヶ国	(2012年 7月31日現在)
世界のクラブ数	46,272 C	(//)
世界の会員数	1,340,600名	(//)
2. 日本全体のクラブ数	3,220 C	(//)
日本全体の会員数	102,357名	(//)

(7) ライオンズクラブ国際協会の目的

- ☆ 世界の人々の間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- ☆ よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- ☆ 地域社会の生活・文化・福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- ☆ 友情・親善・相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- ☆ 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。
 ただし、政党・宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。

- ☆ 奉仕の心を持つ人々が個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また商業・工業・専門職業・公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

(8) ライオンズ道徳綱領

- ☆ 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- ☆ 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- ☆ 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- ☆ 世人に対する自己の立場や行いに疑いが生じた時は、世人の立場に立って解決に当たること。
- ☆ 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- ☆ 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、変わらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- ☆ 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- ☆ 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

【禁忌事項】

- ☆ クラブおよびクラブ会員は、他のクラブおよびクラブ会員に対し、資金、物品および援助を求める文書並びにライオンズ道徳綱領に反する文書を配布してはならない。
- ☆ 礼儀として、別のクラブの領域に入る場合には許可を求めるべきである。国際理事会または同理事会の被指名人によって承認された場合を除き、いかなるライオンズクラブ、ライオンズクラブ会員もしくはライオンズ地区（単一、準、暫定および複合）が組織および（または）管理しているいかなる組織（法的、自然、その他一切）も、他地区の明確な境界内において、その地区の許可なしに資金、援助または商業的価値のあるいかなるものも要請してはならない。ただし、複合地区協議会は、その複合地区を構成するいろいろな地区の間での資金要請を許可することができる。前述のいかなるものについても紛争が生じた場合には、その紛争は、それが生じた地区のキャビネットに提出され、その調停を受けるものとする。いかな

るライオンズクラブ、ライオンズクラブ会員、ライオンズ地区、あるいは他のいかなるライオンズ組織も、メンバーとしての関係を利用して、独自の商業的営利のために資金などの要請をしてはならない。

- ☆ クラブへの納入金未納の通知書を幹事から受けて 60 日以内に納入しない会員は、直ちに、全額を納入するまでグッド・スタンディングでなくなる。グッド・スタンディングの会員のみがクラブにおいて投票権を持ち、役員になることができる。
- ☆ クラブは公職の候補者を後援または推薦してはならない。また、クラブのいかなる会合においても政党、宗派に関して論じてはならない。
- ☆ クラブ役員および会員は自らのライオン歴を累進させる場合を除き、いかなる個人的、政治的、その他の野心のためにも、会員であることを利用してはならない。また、クラブ全体としてもクラブの目的に反する運動に参加してはならない。
- ☆ クラブの会員以外の者が、会合の席でクラブに資金を求めることはできない。また、クラブの会合中に経常以外の臨時支出の要請または提案がなされた場合、すべて財務委員会に付託する。ただし、定足数の出席者のある会合において出席全員の満場一致の決議による場合はこのかぎりではない。
- ☆ 会員名簿は、理事会の承認なく、それを請求する者に配布してはならない。
- ☆ 国際会則第 4 条に名称および紋章の使用について規定されている。2012-2013 ライオンズクラブ役員必携第 1 編 I の 14. に詳しく記載されているので乱用しないよう留意する。
- ☆ 名誉会員および準会員を除いて、いかなる会員も同時に二つ以上のライオンズクラブの会員になることはできない。

(9) ライオンと呼ばるる人

☆ 事業を成功に導き、善良な生活を楽しみ

常に微笑^{ほほえみ}をたたえ、人類を愛し

知識人の尊敬を集め

幼児^{おきなご}たちに親しまれる人

☆ その地位にふさわしく

かつ精力的な仕事ぶりにより

一輪の花と心うつ詩と

そして、うるわしさを秘めた魂とによって

より良き社会をもたらす人

☆ 人生の中に美の輝きを感じ

その賛美の言葉を忘れず

友の美点を常に見守り

自らの良きところをまた友に贈る

その人生こそ偉大なる感激そのもの

彼こそライオンと呼ばるる人

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を
養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する。

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
自由を守り 知性を重んじ われわれの国の安全をはかる

モットー

We Serve
われわれは 奉仕する

ライオンズの光

真 下 三 郎 作
(広島佐伯 C)

一本の明かり
一本の、小さな明かり
それはわずかに身の廻りを照らすにすぎない
しかし幾千万と集まれば
影と闇とをなくする
巨大な光明となるにちがいない

一本の明かり
一本の、温かい明かり
それはライオンズ精神にもたとえられる
一人の胸にともされたライオンズ精神は
たとえその明かりは乏しくとも
その光は地域社会を照らしつづけよう

ライオンズの願いは限りなく大きい
だから、すべてのライオンよ
今こそ胸の光を結集して
太陽のごとく
奉仕と友愛との輝きを
地上のいたる所にゆきわたらせようではないか

第4章 ライオンズクラブの組織

(1) 会 員

善良な徳性の持ち主で、地域社会において声望のある成人は、正式に承認されたライオンズクラブの会員になる資格がある。ただし、招請によってのみ入会することができる。

2003年度、デンバーでの国際大会において、ライオンズクラブと同じような性格を持つクラブ（ロータリークラブ・ソロプチミストなど）の会員であっても、加入できることになった。

(2) ライオンズクラブの組織（地区組織）は

1975年度までは日本全国を東と西に分け、東日本をE地区、西日本をW地区として分割されておりましたが、1976年度から下表のとおり、複合地区並びに地区が改正され、1998年7月、332複合地区が332-E地区山形、332-F地区秋田と改正され、2005年7月333複合地区の333-A地区が分割し、333-A地区新潟、333-D地区群馬、さらに2007年7月333-B地区が分割し、333-B地区栃木、333-E地区茨城、また2009年7月337-D地区から分割し、337-E地区熊本が改正されました。

日本のライオンズの地区組織について

○ 複 合 地 区 ・ 地 区 組 織

(2012. 7. 31 現在)

330 複合地区	{	330-A地区～東京都（八丈島・三宅島・小笠原）	(203)	
		330-B地区～神奈川, 山梨, 大島, 新島(東京都)	(175)	
		330-C地区～埼玉	(94)	
331 複合地区	{	331-A地区～北海道（道央地区）	(72)	
		331-B地区～北海道（道北・道東地区）	(89)	
		331-C地区～北海道（道南地区）	(53)	
332 複合地区	{	332-A地区～青森	(65)	
		332-B地区～岩手	(55)	
		332-C地区～宮城	(76)	
		332-D地区～福島	（設置は任意）	(76)
		332-E地区～山形	（設置は任意）	(58)
		332-F地区～秋田		(51)

333 複合地区	{	333 - A地区～新潟	(78)
		333 - B地区～栃木	(53)
		333 - C地区～千葉	(138)
		333 - D地区～群馬	(53)
		333 - E地区～茨城	(77)
334 複合地区	{	334 - A地区～愛知	(122)
		334 - B地区～岐阜, 三重	(82)
		334 - C地区～静岡	(82)
		334 - D地区～富山, 石川, 福井	(96)
		334 - E地区～長野	(52)
335 複合地区	{	335 - A地区～兵庫(東), 淡路島	(95)
		335 - B地区～大阪, 和歌山	(180)
		335 - C地区～滋賀, 京都, 奈良	(120)
		335 - D地区～兵庫(西), 家島	(66)
336 複合地区	{	336 - A地区～徳島, 高知, 香川, 愛媛, 小豆島, 直島	(151)
		336 - B地区～鳥取, 岡山	(96)
		336 - C地区～広島 (因島, 向島, 江田島, 能美島 倉橋島, 大崎上島, 大崎下島, 生口島)	(101)
		336 - D地区～島根, 山口 (大島)	(99)
337 複合地区	{	337 - A地区～福岡 (対馬・壱岐〔長崎県〕)	(116)
		337 - B地区～大分, 宮崎	(73)
		337 - C地区～佐賀, 長崎 (五島, 平戸島, 小値賀島)	(84)
		337 - D地区～鹿児島, 沖縄	(80)
		337 - E地区～熊本	(59)
			合 計 3,220C

クラブの役員および委員会の組織

① 役員組織

- 会 長
- 前 会 長
- 第1副会長
- 第2副会長

- 幹 事
- 会 計
- ライオン・テーマー (設置は任意)
- テール・ツイスター (設置は任意)

- 会員理事
- 理 事
- 理 事
- 理 事
- 理 事

※ 第3副会長は1996年よりオプション

※ 理事の数はクラブの会員数によって決定しますが、少なくとも4名の理事とする。

なお理事の任期は2年で半数ずつ交互に変わることになっています。

※ 会員理事

会員委員会は、選出された3年任期の3名の委員から構成される。当初は、3名のうちの一人目は1年間、二人目は2年間、三人目は3年間、委員を務める。その後、毎年1名の委員が選ばれる。各委員は、ローテーション・システムによって3年間務めるが、残る任期の継続についてはクラブ理事会が毎年確認しなければならない。すなわち、1年目委員は委員会の委員、2年目委員は委員会の副委員長、3年目委員は委員会の委員長兼クラブ理事会の会員理事となる。1年目の委員の中心課題は会員増強、2年目の委員のそれは会員維持と指導力育成、3年目の委員（委員長）のそれはエクステンションとすることが奨励される。

(3) 委員会の組織

各ライオンズクラブでは、クラブの運営を円滑にするために委員会を設置することになっています。

◎ 運営委員会

- A 出席委員会
- B 会則および付則委員会
- C 大会委員会
- D 財務委員会
- E ライオンズ情報委員会
- F 会員委員会
- G 計画委員会
- H IT委員会
- I PR委員会および会報編集者
- J 接待委員会
- K 指導力育成委員会

◎ 事業委員会

- A 青少年委員会
- B 糖尿病教育委員会
- C 視覚障害者福祉委員会
- D 聴覚・言語障害者福祉委員会
- E 環境保全委員会
- F レオクラブ・プログラム委員会
- G YEプログラム委員会
- H ライオネスクラブ・プログラム委員会
- I 国際関係プログラム委員会

※この他特別委員会を設けることができます。

各委員会の仕事の内容はライオンズ必携 2011-2012 年度 P202~P207（常設委員会の任務の概要）に詳しく記載されています。

上記委員会の構成については、クラブの自主性により兼任することができる。

附 事業委員会の仕事の内容

事業委員会名	仕事の内容
A. 青少年	論文，弁論，ポスター・コンテストをスポンサーする。薬物およびアルコール乱用の危険性を訴え、薬物乱用防止運動の資金を集める。両親のグループやレオクラブなどを通じて青少年に奉仕の機会を提供する。
B. 糖尿病教育	生活習慣病の一つである糖尿病について会員や地域社会の自覚を促し、合併症により失明することの危険性や治療の必要性を周知する。
C. 視覚障害者福祉	社会生活を営む上で、視覚を通して得る情報量は大変多い。「視力」に対する認識を深め、予防可能な失明をなくすことを訴える。献眼登録を勧め、アイバンクを支援する。角膜移植のための機材を寄付する。盲導犬の育成・普及に協力し、盲学校や視覚障害者のグループに機器を寄贈する。
D. 聴覚・言語障害者福祉	地域の聴覚・言語障害者グループに機器を贈ったり、聴力測定など検診の機会を設ける。
E. 環境保全	1972年10月開催の国際理事会で「人間と自然環境」に関する方針宣言が採択された。人口増加や開発などにより自然環境が破壊されている現実を目を向け、自然環境の質を改善して人類全体の福祉向上を図る。地域社会に必要なことを考え、奉仕事業を行う。
F. レオクラブ プログラム	レオクラブの例会や理事会に会員が出席し、情報の提供や指導を行う。レオクラブ結成の可能性について各方面と話し合い、積極的にスポンサーする。
G. YCE プログラム	<p>青少年の国際的なホーム・ステイを行うライオンズクラブのYE（青少年交換）は青少年たちの視野を広め、国際的理解と友情を促進している。</p> <p style="text-align: center;">派遣生年令：16～21歳</p> <p style="text-align: center;">派遣期間 夏約4週間 冬3週間</p>
H. ライオネスクラブ プログラム	ライオネスクラブがスポンサー・ライオンズクラブの方針に従って運営されていることを確認し、よりよい奉仕を実施していけるよう助力する。
I. 国際関係プログラム	外国のクラブと文通したり、会報や写真など相互理解を促進する資料を交換する。クラブの計画委員会と協力して外国からの訪問者や交換学生などを招く。国際連合とライオンズクラブ国際協会との関係を十分認識し、国際連合の日（10月24日）を祝福する。

第5章 ライオンズクラブのアクティビティについて

(1) アクティビティということについて

第2章でライオンズクラブの組織の概要を記しましたが、かかる組織が現在世界207ヶ国にできておりました、この組織が大きく動いてライオンズクラブのモットーであるWe Serve (われわれは奉仕する)の仕事が広く展開されていくのであります。

ライオンズクラブの奉仕は、その地域社会で要求されていることを調べ、そのクラブが単独で行なうのが原則であります。ライオンズクラブは寄付団体ではありません。地域社会から援助を求められたとき、単にこれに応ずることはライオンズクラブの奉仕の本質的な姿ではなく、地域社会を明るくし、発展させるため困窮するものを救い、努力するものを励まし、多数の人々の望んでできない奉仕をすることです。

このような奉仕の対象を、われわれの眼で・耳で・足で探し出し、その奉仕の方法を研究する自体が真のライオンズクラブの奉仕の第一歩であることを銘記しなければなりません。そのためアクティビティはクラブ単位で行うことが本義であるが、世界・国・地方等広範な地域へ奉仕のため、多数のクラブが共同してひとつのアクティビティを行なうことも、それ自体誤りではありません。しかし、この統一アクティビティのため単一クラブの事業計画に支障を与えないように留意することが肝要であります。

ライオンズの奉仕が国の福祉・国際親善・世界平和および人類の社会的・文化的・経済的進歩に与える影響持すこぶる大きく、ライオンズの行っているすべての社会奉仕またはそれに伴うライオンズの信望はすでに世界に広く認められています。

(2) アクティビティの実施について

単位のライオンズクラブがアクティビティを実施する時は、さきの組織にありますようにまず委員会で研究討議し、アクティビティが決定したらその実施策を理事会に提出し、理事会でさらに審議して決定したら例会の際会員にもはかって、みんなが了解したところで実施することが望ましいのであります。そこで委員会活動ということが非常に大事になってきますが、委員会活動が活発なところはクラブ活動が旺盛であります。

第6章 奉仕活動とその事業内容

(2007－2008年度役員必携より引用)

ライオンズクラブはさまざまな地域的人道的な事業活動を計画し実行しています。これらの活動はライオニズムに基づく広範な主要活動の事業委員会に分けられ、クラブはこれらの幅広い活動の中から特定の事業活動を選択することができます。その事業委員会は次のとおりです。

(1) LCIF (Lions Clubs International Foundation)



ライオンズクラブ国際財団は、国際協会によって1968年に設立され、ライオンが人道主義的奉仕と業績を世界に広めるためのユニークな手段です。財団の仕事は諸クラブの奉仕活動を補完するものであり、ライオン相互の協力を必要とする人道主義的奉仕のために、会員・クラブ・地区から財源を拠出願っています。

財団は、「われわれは奉仕する」というライオンズのモットーを全世界に広めるための運動を展開しています。

財団からの交付金は、財団の主要目的である災害救助・職業訓練援助・人道主義的奉仕の趣旨に沿って、ライオンの活動を後援することになります。開発途上国における多数の困窮者の視力回復事業は、財団の交付金によって援助される数多くの活動のひとつです。財団は貧しい学生たちのために、その国々で職業訓練を実施していますが、さもなければ学生たちの将来は寒心に堪えないものとなるでしょう。財団はまた、災害に襲われた学校・病院・公共施設、地域の再建を援助する長期間の救助活動を行っています。

LCIF 芳名録とメルビン・ジョーンズ・フェローは、顕著な功労のあった生存者をたたえるばかりでなく、故人となった功労者の栄誉をも永遠に記念するものです。すべてのライオンは、財団への善意の拠出を通して、財団の国際的活動の積極的な後援者となる機会をもつことになります。クラブ単位で又個人でLCIFに対し、善意の拠出を切望する。

1991年7月から1996年6月まで、「視力ファース」としてLCIFのもとに指定献金(CSF)で資金を特別に集め、世界保健機関(WHO)などと協力して、「失明の予防および治療」の国際的奉仕活動が行われた。2004年末までに、世界79ヶ国1億人以上の眼科医療の改善、2400万人以上の人々の失明予防、250以上の眼科診療所建設、約68,000人の医療専門家を育成した。その資金総



額は、US \$ 1 億 7 千万に達する。この事業資金獲得の視力ファーストキャンペーンにおいて、日本は世界の36.5%を抛出した。

日本における視力ファースト事業は、「アイヘルスプログラム」(1995-98)が約2億円の交付金を受け、全日本ライオンズにより実施され、先進国における失明予防のモデルプログラムとして、緑内障および糖尿病による失明予防の啓蒙活動を行った。

このような視力ファーストキャンペーンの全世界的な成果は、国際的に高い評価を受け、その継続的活動と近年問題となった新しい失明の問題にも対処すべく、2005年7月から2008年6月の3年間「視力ファーストⅡキャンペーン」(CSFⅡ)として、資金獲得活動が行われる。その全世界における目標額はUS \$ 2億と前回は上回る額であり、日本ライオンズにCSFⅡへの献金および支援が大きく期待されている。

このCSFⅡは、2005年6月の香港国際大会において活動が開始され、日本は4つの地域に分けられてナショナル・コーディネーターを中心にキャンペーンが進められている。

(2) ライオンズクエスト・プログラム (Lions Quest Program)



薬物乱用防止を含む、青少年がライフスキルを高めるための教育支援プログラム。プログラムは3種類あり、日本で展開されているのは「思春期のライフスキル教育」。NPO法人青少年育成支援フォーラム (JIYD) <http://www.1qjp.org>のウェブサイトには最新情報が掲載されている。

(3) 糖尿病教育奉仕 (Diabetes Awareness Services)



糖尿病の危険に対する人々の認識を深めるため、ライオンズは、教育と早期発見に重点を置いている。無料検診を伴った講演会、セミナーはその事業の一例である。

(4) 視覚障害者福祉奉仕



(Sight Conservation and Work with the Blind)

幼児緑内障検診所、アイバンク、リハビリテーション・センターの設置。盲学生のための作業場設置と就職斡旋。盲導犬その他歩行補助器具の供与。図書館、レクリエーション施設のスポンサー。

(5) 聴覚・言語障害者福祉奉仕



(Hearing and Speech Action and Work with the Deaf)

聴覚および言語障害者に対する検診、各種リハビリテーション施設の設置と補聴器具等の供与。

(6) 環境保全奉仕 (Environmental Services)



大気、水質、土壌などの汚染の追放を目的とした地域社会活動計画の推進。環境改善のための立法措置の支援。

(7) レオクラブ・プログラム (Leo Club Program)



レオクラブの目的は、地域社会の青少年にリーダーシップをはぐくみ、経験を積む機会を与えることにある。各レオクラブはライオンズクラブによってスポンサーされ、スポンサー・クラブ会員がレオ顧問となる。

(8) Y(C)E プログラム (Youth (Camp) Exchange Program)



青少年の国際的なホーム・ステイを行うライオンズクラブのYE（青少年交換）は青少年の視野を広め、国際的理解と友情を促進している。

(9) ライオネスクラブ・プログラム (Lioness Club Program)



ライオネスクラブ・プログラムは、所属クラブを通して人々に奉仕する機会を与える。ライオンズクラブ会員の夫人その他奉仕に関心を持つ女性たちは、ライオンズクラブ会員と同様に多種多様の奉仕事業に携わっている（男性の入会も可）。

(10) 国際関係プログラム (International Relations Program)



国際親善。相互援助。各種交換計画。国際連合の人道主義的目的への支援。

第7章 ライオンズクラブの会議並びに大会について

(1) ライオンズクラブの会議について

ライオンズクラブの組織構成からみて重要な会議がいくつかありますが、次に2・3の会議を記しますと、

1. 諮問委員会（地区ガバナー諮問委員会という）

この委員会は各ゾーン内の各クラブの会長、幹事が集って、ゾーン・チェアパーソンが中心（議長）となり、クラブ運営発展のためにいろいろ有益な討議を行う会ではありますが、年3回（9月、11月、3月もしくは4月）開催することになっております。

2. 地区キャビネット会議

この会議は地区ガバナーの召集によって年4回開催されますが、会議に参加する人は、リジョン・チェアパーソン（RC）、ゾーン・チェアパーソン（ZC）各委員長、前ガバナー、名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計等であってクラブの運営、地区の発展のためにいろいろ研究討議が行われ、地区内の決議機関としての使命をもっています。

3. 複合地区ガバナー協議会

複合地区内の各地区のガバナーによって構成されているがキャビネット幹事、キャビネット会計、顧問はオブザーバーとして参加しますが、この会議は各複合地区における最高の会議で、年6～8回（定例・臨時）開催されることになっています。

4. 国際理事会

構成員は、国際会長、前会長、第1副会長、第2副会長、および34名の理事から成っています。この構成員は国際大会において選出されますが、理事会はライオンズクラブ国際協会における最高の執行機関であります。

(2) ライオンズの大会

1. 地区年次大会

全国34の地区ごとに毎年4月～5月にかけて地区キャビネットの決定した場所で開催されます。

2. 複合地区年次大会

年1回、大体5・6月複合地区の各クラブから代議員、並びに一般の会員が集って複合地区ごとに開催されます。極めて有意義に盛大に行われております。

3. 東洋・東南アジアフォーラム

通称アジア大会と言っておりますが、毎年アジアのいずれかの大都市で開催されます。今までの開催地はマニラ、東京、台北、香港、京都、ソウル、バンコク、名古屋、シンガポール、福岡、クアラルンプール、札幌、神戸、横浜、釜山、仙台、ペナンでした。2010年11月には台湾・高雄で開催、2011年11月は、フィリピン・マニラで開催されました。

2012年11月には、福岡で開催されます。

4. 国際大会

年1回開催されます。今までは大旨アメリカ本土の都市で開催されていましたが、1969年と1978年都合2回東京都で開催され、2002年には大阪において開催されました。この大会には、日本からの参加者も毎年多数にのぼっています。

この会期中に世界の200ヶ国の地区ガバナーの研修もあわせて行なわれます。

第8章 ライオンズクラブの諸事務局・事務所

(1) ライオンズクラブの諸事務局、事務所

1. ライオンズクラブ国際協会の本部

アメリカ、イリノイ州オーク・ブルックにあり、全世界のクラブを統轄し、種々の業務を掌握しているところです。

2. 日本ライオンズ連絡事務所

東京都にあり、日本における各地区、各クラブの統合的管理事務をするところです。

3. 複合地区ガバナー協議会事務局

日本を8複合地区に分け、各複合地区毎にガバナー協議会事務局が設置されています。337複合地区は福岡市にガバナー協議会事務局があります。

4. 地区キャビネット事務局

地区ガバナーの仕事をする事務局で、地区内の諸会議、会計、通達等の業務を処理するところです。地区ガバナー、キャビネット幹事、キャビネット会計のもとに普通3人位の事務員が事務を執っています。

5. その他の事務所

○国際協会日本事務所

この事務所は東京にあります。クラブで必要な用品（バッジ等）を注文するところですが、注文書の形式はきまっておりますので、その用紙を使用して注文します。代金は、国際本部から請求されます。

○ライオン誌日本語版事務所

この事務所も東京にあります。毎月各会員に発送されてくるライオン誌を編集並びに各会員への発送をする事務所です。

第9章 ライオンズクラブの会計について

(1) ライオンズクラブの会計について

会費の納入は、会員としての基本的義務のひとつであります。

単位クラブの会計は大きく分けて三つになります。次にこれについて簡単に説明しますと、

単位クラブの会計……（次のとおり3本立てになっています）。

1. クラブ運営費会計

1口に言って単位クラブの一般運営の会費です。予算案を作っているいろいろな事務費即ち通信費、旅費、会議費、給与等の会計で、この中から負担金等も支出します。

2. クラブの事業費会計

いわゆる社会奉仕のために準備する費用で、年度初めに予算を決定し準備しておきます。

3. クラブ例会食費会計

1ヵ月2回の例会の際の食費会計です。

※ 単位クラブにおける会員1人の拠出金はクラブごとに違います。

※ 会計年度は7月1日に始まり、翌年6月30日に終わりますが、これを二期に分け、7月～12月……上半期。1月～6月……下半期としてそれぞれ半期ごとに予算をたて、中間報告をしますが1年間の予算をたてて執行し、1年間の終わりに決算をする。

第10章 国際協会から贈呈される賞（アワード）について

（1）アワードの活用

ライオンズクラブ国際協会は、全世界130万人の会員の献身によって大きな成功を収めており、毎年、功績のあった会員にアワード（賞）を贈呈している。賞は、多くの場合、クラブを通して申請され、しかるべき会合で個人に手渡されているが、時期を逸して、賞の意義や効果が減じている場合も時折見受けられる。

そこで一考しなければならないことは、他の会員が受賞者の功績を理解し、われも続こうと勇み立つような雰囲気を作ることである。

たとえば、地区ガバナーのクラブ訪問に時を合わせて受賞式を行うのもよいし、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンなどに賞を授与してもらうことも一案であろう。そうすれば、その賞の意義が強調される。

また、夫人の集いの席上、賞の授与を行うのもよい考えである。夫人は会員全員から祝福される夫の姿を目の当たりにする機会を得ることになるのであるから……。

このように、いろいろな面を考慮のうえ、賞を有効に各クラブの活動に役立てていけば、それは、クラブひいては国際協会の活動を高めるテコの役割を果たしてくれるのである。

（2）各種アワード

国際協会から贈呈される最高位のアワードは、国際会長の判断で授与される。最も重要で格式高いアワードは**国際親善大使賞**であり、その次に**国際会長賞**、**リーダーシップ・アワード**、**国際会長感謝状**と続く。国際会長は顕著な働きをして功績を収めたライオンに、これらのアワードを贈呈する。アワードは公的な場で相応な表彰式を開いて贈呈されるべきである。「賞の贈呈」という項目は、定例会議などの次第に含めるのがよい。もし贈呈する具体的なアワードがない場合には、懸命な働きをした会員を表彰する方法を考え出し、高いレベルでやる気を保ち貢献を続けるようにすべきである。入会したばかりの会員を称えることも大切である。アワードは、受賞者に郵送するべきではない（アワード奉仕の報いPR18から要約）。

これまで長期会員賞として、10年以上在籍したチャーター・メンバー、その他会員に与えられていたチャーター・モナーク・シェブロンとモナーク・シェブロンは、すでにアワードとして扱われていない。それらは、5年およびそれ以上5年ごとの長期皆出席賞（1989年7月以降有料）と同様に有料（1999年7月以降）で販売されている。1年の皆出席賞および1年ごとのタブも、販売品として国際協会日本事務所が扱っている。

ところで、2004年4月ソウル理事会で、協会に長い間会員として貢献していることを称えるマイルストーン・シェブロン・プログラム（25年、50年あるいはそれ以上の在籍年数を示すチャーター・モナーク・シェブロンおよびモナーク・シェブロンがそれを受ける資格のある会員に対し、自動的に無料で交付され、クラブへ送られる）が決議されている。また、会員増強プログラムは1999-2000年度から年間を通じたものに変更、新たに会員維持プログラム（リテンション・キャンペーン）が、2001-2002年度から始まっている。

会員キー賞

受賞規定を満たした場合、次頁のとおりスポンサーした新会員の合計数に応じたキー賞が贈られる。各キーは、後ろに留め金の付いたラペル・ピンになっている。ネーションズ・キー（100人の新会員をスポンサーした場合の表彰）以上のキー賞には、特別なメダルと贈呈用のリボンが添えられる。

月例会員報告書で新会員として報告された会員が、報告書の年月から数えて1年と1日（13ヵ月間）在籍した場合には、報告書に記されたスポンサーに、自動的にキー賞が交付される。新しい規定によるキー賞は、2002年7月1日以降に新会員をスポンサーした場合に交付されるものであり、過去にさかのぼって交付されることはない。受賞資格を得た次の段階のキー賞のみが交付され、賞はすべてクラブ幹事あてに送られる。なお、チャーター・メンバーをスポンサーした場合、2005年7月からは、キー賞受賞の対象にはならないことが決議されている。

（2004年10月シカゴ理事会）。

◎ 受賞規定

1. キー賞の受賞資格を得るには、スポンサーした新会員が1年と1日（13ヵ月間）クラブに在籍していなければならない。ただし、スポンサーされた会員が入会后1年と1日を迎える前に死亡、転籍、他の地域へ転居した場合は例外となる。

2. 既存クラブに新会員が入会する場合、新会員とスポンサーの氏名、スポンサーの会員番号および所属クラブ番号が、クラブの月例会員報告書で報告されていなければならない。
3. 新会員がチャーター・メンバーとして入会する場合には、新会員とスポンサーの氏名、スポンサーの会員番号、スポンサーの所属クラブ名およびクラブ番号を、クラブ結成後90日以内に提出される最初のチャーター・メンバー報告書及び（又は）追加のチャーター・メンバー報告書で報告しなければならない。
4. スポンサーは、同じ種類のキー賞を一つだけ受けられる。
5. 転入会員、再入会員を、キー賞の対象に使うことはできない。
6. 各新会員につき一人のスポンサーだけが、受賞の対象となる。

第 11 章 ライオンズクラブの例会について

クラブの例会は月 2 回開催されますが、例会出席は各会員の基本的義務の一つであって、その例会に興味があり素晴らしい例会に計画することは、クラブ運営にとって大切なことでもあります。それは毎月の例会に会員が集合し、会員相互間の友愛精神を深めるためにも大切なことであって、そのためには計画委員会において、詳細な計画とよく準備された諸事業が必要であります。たとえば、全会員による元気な合唱とか、ソングリーダーとか、練達なテール・ツイスターの活動とか、ことに例会における開会・閉会の時間の厳守等、即ち計画委員会は各例会の諸準備の責任者でその努力が必要であります。

例会についての順序は、下記の左側は例会の標準プログラムであって、クラブではこの標準プログラムの意に則って、右側の順序で大体開催されていますから、クラブによっては多少違ったところもあります。

プログラム

1. 開 会 ゴ ン グ
2. 国 歌 斉 唱
3. ライオンズクラブの歌またはライオンズ・ヒム斉唱
4. ゲストおよびビジター紹介
5. 会 長 挨 拶
6. 幹 事 報 告
 - ① 報告並びに協議
 - ② 委員長の報告
7. ゲストの講演
8. また会う日まで
9. ライオンズ・ローア
10. 閉 会 ゴ ン グ

※ クラブの創立記念日、3月地区ガバナーの月、2月は元地区ガバナーの月、並びにキー賞受賞会員の表彰、新会員入会式、役員就任式、婦人の夕べ、クラブ合同交歓会等については、計画委員会においてよく研究して計画することが肝要であります。

第12章 例会出席・メイク・アップ規則について

◎ ライオンズクラブの会員は毎月2回開催されるクラブ例会に出席することは極めて大事なことであるが、例会に出席できなかった場合、次のようなメイク・アップ規則があります。この規則に則って、行動することが最も肝要なことです。

1. 例会の前後それぞれ13日間以内に次のいずれかに該当する場合は例会に出席したものとみなされる。

A 次への出席

a. 他クラブの例会あるいは特別会合

b. 所属クラブの理事会の会合

c. 所属クラブの常設委員会の正式会合

d. 所属クラブ主催の会合（クラブ・アクティビティ資金獲得活動を含む）

e. リジョンあるいはゾーンの会合

f. 国際大会、東洋・東南アジアフォーラム、複合地区・地区大会あるいはその他の正式なライオンズの会合

g. 上期期間中における国際本部、外国の地区あるいは複合地区（State）事務局訪問（訪問の証明書が用意されている）

2. 病気のため欠席した会員は医師の診断書を提出することによって、自動的に出席したものとみなされる。

3. 軍務、証人として裁判所出席、公務出張、公職選挙法による公職、条例の要請のため欠席した会員は出席したものとみなされる。この場合証明書の提出を求めようかどうかはクラブの理事会が決定する。

4. 職務の関係で相当日数にわたる出張（海外出張を含む）のため、例会に出席不可能であり、クラブが正当と判断した場合は出席とみなされる。

5. 近親者（配偶者、2親等内の血族および1親等内の姻族）の喪に服する場合、10日以内は出席とみなされる。

6. 会員が出席メイク・アップの必要要件を満たしていることを証明する責任はクラブ幹事にある。

7. 妊娠または出産のために会員がやむをえず例会を欠席しなければならない場合、クラブ理事会とその会員が適切であると合意した期間は、出席したものとみなされる。

第13章 ライオンズ必携とライオン誌の熟読

ライオンズ必携の内容はご承知のとおり条文が多く、無味乾燥と思われるであろう。そこで、最初1～2回を通読され、事後はケースごとに「そのことは、どんな会則の、どの条文に拠るのか」を明らかにするという態度で読んでいくようにしたい。この必携は、現在330～337複合地区会則委員長連絡会議が編集に当たり、毎年検討吟味して修正を加え会員に配付することになっている。

又、毎月、ライオン誌日本語版事務所より発行されるライオン誌はライオンズクラブ国際協会、日本のライオンズクラブの情報が詳細に報道されているので、是非熟読するよう心がけましょう。

第14章 ライオンとしての心構え

皆様は、クラブにとって新しいエネルギーである。従って、迎え入れられた皆様自身が自覚し、努力しないことには道は開かれない。一人一人がライオンバッジに恥じない、重厚な人間味溢れる「ライオンと呼ばれる人」になろうと自らに言い聞かせ、自ら努力するところからしか意欲は湧いてこない。ライオンとしてめざす方向、目標を理解することが一番大切なことです。

清新な気魄に燃えた皆様は、そのクラブに清新の血液を注入する、いや注入してもらいたい。その時、クラブのエネルギーとなるのです。

第15章 結 び

私たちのモットーは「We S e r v e」われわれは奉仕するということです。このわれわれとは「会員一人一人が責任をもって参加する」ライオンズの「We」われわれとは

1. クラブ会員全員が責任をもって参加し奉仕する
2. 会員が家族ぐるみで奉仕する
3. 地域ぐるみ 市民と一緒に奉仕する

4. 国内のボランティア 団体ぐるみで愛の手をとって奉仕する
5. 世界のライオンと共に平和を願って奉仕する
6. 志を同じくする他の奉仕団体との共同アクティビティも必要な時は協力する。
(ロータリークラブ、ソロプチミスト等)

以上、1～6のもつ意義を一日も早く理解されることにより、ライオンズの奉仕の偉大さ、世界最大の奉仕団体の会員としての誇りをもって、家庭にあっても、企業においても、ライオンズ活動においてもリーダーシップを発揮し、活動されると信じます。

附 諸会費の税法に関する事項

1. 法人税の取り扱いについて

- (a) ライオンズクラブの会費および入会金の取り扱いについては、従来、社交クラブの入会金や会費に関する法人税基本通達が適用されていたが、1980年の通達改正により、社交クラブとは別途に次のとおり定められた。ただし、基本的内容は従来に通達と変わらない。

法人税基本通達（抜粋） 直法2-15 昭和55年12月25日

（ロータリークラブおよびライオンズクラブの入会金等）

9-7-15の2 法人がロータリークラブ又はライオンズクラブに対する入会金または会費等を負担した場合には、次による。

- (1) 入会金または経年会費として負担した金額については、その支出をした日の属する事業年度の交際費とする。
- (2) (1)以外に負担した金額については、その支出の目的に応じて寄附金又は交際費とする。ただし、会員たる特定の役員又は使用人の負担すべきものであると認められる場合には、当該負担した金額に相当する金額は、当該役員又は使用人に対する給与とする。

2. 所得税の取り扱いについて

個人事業者に対するライオンズクラブの会費等の取り扱いについては、所

得税基本通達36-35および36-35の2により、法人の場合とほぼ同様の扱いとなっているが、実務上は昭和58年1月27日審判裁決事例に基づき、原則として個人事業者の必要経費とはならないので留意しておかなければならない。

3. 消費税について

消費税は、物を売るとか貸すとかいう資産の動きや、消費に対して課税される税金である。従って、それは売り上げたり、仕入れたり、経費を使ったりした時にかかる。その税率は現在5%（1997年4月1日以後消費税4%、地方消費税1%、計5%）。

ライオンズクラブの場合は、入会金、会費収入、記念行事のための特別負担金やドネーションにはかからないが、チャリティーショーの入場料収入や、チャリティー・バザーの売上には消費税がかかるから注意すること。ただし、年間課税売上高1,000万円以下の場合は納税を免除されているから、実質的には消費税はかからない。

なお、納税者は商品やサービスを販売した会社（公益法人を含む）や個人事業者である。しかし製造・卸・小売りの各段階で消費税が次々と売上に上乗せされていくから、最終的には消費者が消費税を負担しているということになる。

4. 印紙税について

ライオンズクラブが会員などから、会費およびその他の金銭を受け取った際には、領収書を発行している。その領収書には、印紙税法第5条別表第1第17号非課税物件2番により、収入印紙をはらなくてよい。

ライオンズ用語と意味

アクティビティ	地域社会に向かって行う奉仕活動。これなくしてライオンズクラブの存在価値はない。
アテンダンス	例会出席のこと。会員の主要な義務の一つで出席率は毎回記録される。
アワード	国際会長又はガバナーなどから贈られる各種の賞のこと。
ウィ・サーブ	ライオンズクラブのモットー。「われわれは奉仕する」と訳されている。
エクス・オフィシオメンバー(職権委員)	ライオンズクラブの諸会議で発言権はあるが、表決権を持たない構成メンバーをいう。
エクスカーション	チャーター・ナイト、地区年次大会、複合地区年次大会等の際に行われる親善行事、見学旅行等。
エクステンション	新クラブを結成すること。ライオンズ最高のアクティビティであるといわれている。
M J F	ライオンズクラブの創設者メルビン・ジョーンズの名を冠した名誉ある称号で、その頭文字をとった略称。 ライオンズクラブ国際財団(LCIF)の無指定献金1,000ドル以上の者に与えられる。
L C I F	ライオンズクラブ国際財団の略語で大災害や緊急事態の救済、その他全世界人類の福祉に貢献している。
会員カード	ライオンズクラブ会員の「身分証明書」で国際本部から渡される。メンバーとして公式な行動をとる時は必ず携帯する。
ガバナー	国際協会の役員で、地区年次大会で選出され、地区においてライオンズクラブ国際協会を代表し、さらに地区運営の最高責任者としてキャビネット構成員および地区内全員を指導する。
ガバナー・エレクト	地区ガバナーは地区年次大会で選出され、その年度の国際大会の閉会時から正式に就任するが、選出されてから就任するまでの期間はガバナー・エレクト(ガバナー就任予定者)と呼ばれる。
ガバナー協議会	複合地区内のすべての地区ガバナーおよび追加構成員によって設けられた機関。複合地区の運営管理、役員選任、その他の事項を行う。
ガバナー諮問委員会	ゾーン・チェアパーソンを議長に、ゾーン内のクラブ会長、幹事で構成される地区ガバナーの諮問機関。(年3回開催)
キャビネット	地区ガバナーを中心に地区の運営に当たる役員および事務局の総称。
グッド・スタンディング	国際会則等を遵守し、最も良好なクラブ又は会員のこと。

準 地 区	複合地区の一部を形成する1地区をいう。337複合地区はA・B・C・D・Eの準地区で形成されている。準地区は全国に35地区ある。
ステータス・クオ	活動停止クラブのこと。
スポンサー	新会員をクラブに推薦した会員のこと。新会員が良好な会員となるまで見届ける責任がある。
スポンサー・クラブ	新クラブ結成の中心となったクラブのことで新しいクラブの指導と援助をする。
ライオンズ奉仕デー	第1回国際大会を記念して毎年10月8日に全世界各地で行う奉仕記念行事のこと。
ゾ ー ン	地区管理のため地区をいくつかのリジョンに分け、さらにリジョンを4ないし8クラブからなるゾーンに分ける。
ゾーン・チェアパーソン	地区ガバナーおよびリジョン・チェアパーソンを補佐し、ゾーンの責任者としてゾーン運営に当たる。
チャーター	認証状のこと。新たに結成されたクラブにライオンズクラブ国際協会から交付される。
チャーター・ナイト	認証状の伝達式および祝宴などの催しのこと。
チャーター・フィー	チャーター費。クラブ結成時にチャーター・メンバーが国際協会に納める金（30ドル相当額）
チャーター・メンバー	クラブ結成時の創立会員のこと。
テーブル・バナー	クラブの創意と工夫で作られる小さい旗のこと。
テール・ツイスター	例会等でアイディアによって会合を盛り上げ、会員にファインを課す権限が与えられる。（設置は任意）
東洋・東南アジアフォーラム	国際協会は全世界を7つの地域に分けており、日本は「東洋・東南アジア地域」に含まれる。5地域でフォーラムが開かれている。
ドネーション	会員寄付金、会員の慶事、弔慰、見舞い等に対する謝礼、その他会員が自発的に行う寄付のこと
バ ナ ー	正式クラブ旗のこと。
フ ァ イ ン	いい意味の罰金のこと。額はクラブ理事会が定める額とする。
複 合 地 区	日本は330～337の8複合地区に分割されている。地区の複合体であり、複合地区ガバナー協議会で運営されている。
副地区ガバナー	地区ガバナーの首席運営補佐役として任務に当たり、次期地区ガバナーとして任務を支障なく達成できるように設けられた役職。
ブラザー・クラブ	兄弟クラブのこと。狭い意味では同一のクラブによってスポンサーされたクラブどうしのことを指すが、広く全地区、全日本、全世界のクラブをこのように呼ぶ場合が多い。

プロトコール	外交儀礼。国歌、国旗の取り扱い、式典の方法、席順、服装等。
マンスリー・レポート (月例会員報告書)	クラブ幹事が毎月国際本部・地区ガバナーに提出する会員並びに活動状況報告のこと。
メイク・アップ	例会を欠席した場合、前後13日以内に他のクラブの例会、ライオンズの会合等に出席すれば出席したものとみなされる制度のこと。
名 誉 顧 問	地区ガバナーの任命にて、地区ガバナーを務めた者が就任している。
ライオニズム	最も崇高な人道的奉仕の理想に専念すること。
ライオネスクラブ	ライオンズクラブのスポンサーおよび管理のもとに結成された成年（主として女性）をもって組織されたクラブのこと。
ライオン・テーマー	クラブの諸備品の整備・保管・会場設営などの職責に当たる。
ライオンズ・カラー	紫色と黄金色。紫は高貴と荘厳、黄金色は高貴を表し太陽とその光芒を象徴するもの。
ライオンズクエスト ・プログラム	薬物乱用防止を含めた青少年健全育成のための教育支援プログラムのこと。1984年にクエスト・インタナショナルとライオンズクラブ国際協会が共同で開発し、現在はLCIFがすべての権利を所有している。プログラムは3種類あり、日本語版は小学校高学年・中学生用の「思春期のライフスキル教育」が開発され、NPO法人青少年育成支援フォーラム（JIYD）が運営している。最新情報は、 http://www.jiyd.org のウェブサイトに掲載されている。
ライオンズ・ローア	「ウォー」と大声を出す「ライオンズのおたけび」をいう。
リ ジ ョ ン	全国は8複合地区、35準地区に分割されている。さらに準地区は地区ガバナーにより、10～16の単位クラブからなるリジョンに分けられている。
リジョン・チェアパーソン	地区ガバナーを補佐し、リジョンの責任者としてリジョンの運営にあたる。
レ オ ク ラ ブ	ライオンズクラブのスポンサーおよび管理のもとに組織された青少年のクラブで、青少年に指導力・経験・機会を与えることを目的とする（12歳～28歳）
Y C E	ユース・キャンプ・エクスチェンジの略語で、青少年を海外クラブと交換しあい国際交流をし国際感覚を体得させる。

あとがき

本テキストは、337複合地区内A・B・C・D・E各準地区において従来使用していたものを基本として、読み易く、わかり易く集約し、特にレイアウトには配意したつもりでございます。

総合的にまとめ、編集、校正と作成作業に入りましたが、日程の都合等もあり、充分とは言えない点も多くあることと思います。

本テキストが新会員の皆様の手引きとしてお役に立てば、この上もない幸いです。

2010年12月1日 編集

2012年8月31日 改訂

ライオンズ国際協会 337複合地区

長期計画・指導力・情報・PR・IT委員会